

3月9日。佐沼高ラグビー部に吉報が届く。「第22回全国高校ラグビー選抜大会」へ、学校として初の出場が決まった。

佐沼高ラグビー部は、大阪府の花園ラグビー場で例年開かれている「全国高等学校ラグビーフットボール大会」へ5度目の出場経験があるものの、近年は1991年度に開催された第71回大会を最後に、全国の舞台からは遠ざかっていた。

しかし、昨秋開催された第100回大会予選で快進撃を続け、決勝の舞台まで駆け上がる。花園常連校の仙台育英学園高に敗れるも、各県2位の学校で記念大会杯を争った東北大会に出場。準決勝では、岩手県の黒沢尻北高とスコア7対7の接戦を演じる。抽選により惜しくも決勝へは進めなかったが、強豪校との熱戦が評価され、実行委員会推薦枠により埼玉県熊谷市で開催される選抜大会への出場が決まった。

初戦の相手は、過去21大会中12回もの出場を誇る大阪府・常翔学園。2月に開催された強豪ひしめく近畿大会でも優勝を果たした真正正銘の強豪との対戦が決まった。

大会前、熊谷市長を訪れた千葉響主将は「新チームになって初の公式戦で強豪との対戦。驚きはあるが、地域の人たちからの応援を背に、最後まで諦めず戦う」と力強く宣言した。

3年生を中心に、機動力が武器だった昨年のチームに対し、新チームは100キロ超を5人そろえた重量フォワードが武器。強豪との対戦を控え、総合力で劣る佐沼は重量フォワードを中心にディフェンスの強化に取り掛かる。15人全員で守り切るプレーで、相手のミスを誘う作戦に出た。

千葉主将は「厳しい試合になることは全員が予想していた。雰囲気は飲まれることなくどんだん声を出し、相手にプレッシャーを与えていくことを再確認した」と試合前の心境を語る。

試合開始を待ち、整列するメンバーの顔に迷いの色は見えない。試合が始まると、予想していた通り佐沼高自陣でのプレイ時間が長くなる厳しい展開。

「フィジカルが強く、速さ、上手さにおいても想像していた以上だった」と振り返る千葉主将。

0対43で前半を折り返す

## 感謝の思いを胸に



No.	氏名	出身中学	No.	氏名	出身中学
1	佐藤 圭人	豊里	13	久光 雄大	新田
2	飯塚 智也	佐沼	14	阿部 智希	佐沼
3	高橋 海王	古川学園	15	高橋 亮太	南方
4	佐々木 亮太	南方	16	後藤 薫	新田
5	五嶋 太陽	佐沼	17	河原 拓未	佐沼
6	佐々木 瑛大	南方	18	渡邊 涼太	佐沼
7	千葉 響	佐沼	19	渡邊 諒	南方
8	相澤 洸人	南方	20	千葉 猛斗	中田
9	星 海里	新田	21	高橋 温悟	南方
10	遠藤 悟	佐沼	22	三浦 慶悟	佐沼
11	細浦 大和	佐沼	23	浅野 英介	佐沼
12	石川 太地	佐沼	24	太田 匠	南方

も、試合終了まで自分たちのラグビーを続けるという信念は変わらない。自らのミスから点を取られている部分の修正と、前半同様最後まで相手よりも声を出し続けることを確認し合う。

後半、開始10分で2トライを奪われるも、佐沼高の集中力は途切れない。後半13分、ゴール前で相手のファールを誘うと、一瞬の隙を突き、サインプレーで相手ゴールへボールをねじ込む。聖地熊谷ラグビー場で初のトライ。佐沼高ラグビー部の歴史にまたひとつ新たな記録が刻まれた。

その後もゴールこそ奪えないまでも、常翔学園に思い通りのプレーをさせず、後半は7対17。佐沼高の初陣は試合スコア7対60で幕を閉じた。

翌日は、初日に敗退したチーム同士の試合が実施される。初日を終えた部員らは、全国の舞台で何が通用し、何が通用しなかったのかを確認し合う。二日目の相手は沖縄県の読谷高校。佐沼高と同じく実行委員会推薦枠で初出場したチームだった。応援してくれている人たちのためにも勝って地元に戻りたい。チームは勝利に向けて士気を高め合った。

しかし、試合が始まると佐沼高の動きが重い。

「初日はチャレンジャーとして試合に集中できたが、二日目は勝たないといけないというプレッシャーもあって硬くなってしまった」と話す通り、試合序盤から攻め込まれる時間が続く。試合終了間際、トライを決め反撃を見せるも、7対29で敗退。聖地を後にした。

顧問の白鳥直人先生は「全国レベルの速さや強さを体験でき、選手にとっても私にとっても良い経験になった。今までもこれからも目標は仙台育英に勝つこと。夏はその目標を達成して花園の舞台に立ちたい」と前を向く。

千葉主将は「OBをはじめ、多くの方々から寄付をいただいたと聞き、地元の皆さんにすごく支えてもらっていると感じた。その期待に応えられよう今後もチーム一丸となって練習に励みたい」と感謝の言葉を述べる。今後の目標については「花園出場」と力強く宣言した。

春からは、夏の花園予選に向けて一から練習に励む佐沼高ラグビー部。全国の舞台を経験して一回り成長した彼らの、新たなトライが始まった。